社会実装加速化ワーキンググループ 開催要綱

1 目的

技術戦略委員会における審議を円滑かつ効率的に進めるため、社会実装加速化ワーキンググループ（以下「本WG」という。）を設置し、国立研究開発法人 情報通信研究機構（以下「NICT」という。）の研究開発成果の社会実装機能の在り方や、我が国発の技術の社会実装を促進するために NICT が果たすべき役割等に必要な事項について調査、検討を行い技術戦略委員会に報告する。

2 名称

本WGは、「社会実装加速化ワーキンググループ」と称する。

3 主な調査内容

- (1) NICTにおける研究開発成果の社会実装機能の在り方
- (2) NICTの研究資金配分機関としての在り方
- (3) NICTにおける新技術に対応した研究人材の育成・確保の在り方
- (4) 我が国発の技術の社会実装を促進するためにNICTが果たすべき役割
- (5) その他

4 構成及び運営

- (1) 本WGの構成員は、主任が指名し、別紙のとおりとする。
- (2) 主任は、本WGを招集し、主宰する。
- (3) 主任不在時に本WGの開催が必要と判断された場合、主任は主任代理を指名し、主任代理が主任に代わって本WGを招集し、主宰することができる。
- (4) 主任は、必要に応じて、構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (5) 特に迅速な調査を必要とする場合であって、会議の招集が困難な場合には、主任は電子メールによる調査を行い、これを会議に代えることができる。
- (6) 本WGにおいて調査された事項については、主任がとりまとめ、これを委員会に報告する。
- (7) その他、本WGの運営に必要な事項は、主任が定めるところによる。

5 議事・資料等の扱い

- (1) 本WGの会議は、原則として公開とする。ただし、公開することにより当事者又は第三者の権利及び利益並びに公共の利益を害するおそれがある場合、その他主任が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本WGの議事要旨は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害する恐れがある場合又は主任が必要と認める場合については、非公開とする。
- (3) 本WGの会議で使用した資料については、原則として総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより当事者又は第三者の権利及び利益並びに公共の利益を害するおそれがある場合その他主任が必要と認める場合

は、非公開とする。

6 開催期間

本WGの開催期間は、令和6年11月から令和7年3月頃までを目途とする。

7 庶務

本WGの庶務は、国際戦略局技術政策課において行う。

社会実装加速化ワーキンググループの構成について

(敬称略・50音順)

(構成員)

(主任) 平田 貞代 芝浦工業大学 准教授
東北大学 特任准教授

上原 哲太郎 立命館大学 情報理工学部 教授

榮 藤 稔 大阪大学 先導的学際研究機構 教授

岡崎 直観 東京科学大学 情報理工学院 教授

尾辻 泰一 東北大学 教授

立本 博文 筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授

富田 章久 北海道大学大学院 情報科学研究院 教授

盛合 志帆 国立研究開発法人情報通信研究機構 執行役 経営企画部長